

(仮称) 古河市新公会堂基本構想・基本計画(案) 中間報告シンポジウム

聴 き 取 り よ る 質 問 事 項

質問 1

(仮)新公会堂を建設と今日話をしているが、議会で賛成、反対を繰り返していたがいつ決まったのか？

回答

(仮称) 古河市新公会堂の整備に向けた取組については、令和 3 年に古河市文化施設整備検討委員会(委員長を副市長とし、委員を各部長とする委員会)を設置して、新公会堂の整備に関する基本的な考え方を整理し、令和 4 年に今後の指針となる「(仮称) 古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書」を策定しました。その報告書を基に、令和 5 年に(仮称) 古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を設置し、市民の意向や要望を反映させた計画とするため、市民や文化団体など様々な利害関係者から意見を聴取し、令和 6 年に「(仮称) 古河市新公会堂基本調査報告書」を策定しました。現在は、その報告書を参考に市民委員会において、基本構想・基本計画(案)を審議しているところです。

質問 2

既存施設と差別化してお金をかけてもっと特色のある文化施設を造ったほうが良いのではないか？

例) 高齢者が利用しやすい施設など

現状だと近隣の文化施設との差別化が図れないのでは

回答

(仮称) 古河市新公会堂の施設機能については、大ホールは幅広い利用に対応が可能な機能を備えた上質な鑑賞ができるホールとし、小ホールは移動観覧席を設置し、段床形式の演目だけではなく平土間形式でも活用できる多機能型ホールとし、それぞれ様々な演目が上演可能な設えとします。既存施設との差別化については、上記機能を有したホールのほか、日常的な練習や創造活動の場となる防音機能などを備えた高機能なスタジオの整備も計画しています。

質問 3

駐車場の台数は計画案にある 670 台では圧倒的に少ない。収容人数 1,600 名であれば同数の駐車台数が必要と考えるが？

回答

駐車場の台数については、近隣自治体に確認したところ、栃木県野木町の野木エニスホール（席数：大ホール 800 席、小ホール 280 席）は 529 台、結城市アクロス（席数：大ホール 1,286 席、小ホール 367 席）は 450 台となっており、（仮称）古河市新公会堂（席数：大ホール 1,300 席、小ホール 300 席）の 670 台については、大ホールの席数の半分程度を確保することを想定して計画します。

また、大堤地内においては、市の未来産業用地開発事業（大堤地区）にて文化、産業、商業の交流拠点を備えた新たなまちづくりの拠点として、整備を進めていますので、駐車場においても相互に協力することも検討してまいります。

質問 4

新公会堂にはネーミングがあったほうが良いと思うが？

回答

ネーミングライツ（命名権）については、権利を企業に付与することにより、当該企業からその対価を得て（命名権料）を得て、施設の運営維持に役立てることをすることができます。既に古河市では、市内施設及び、主要道路に、このネーミングライツを導入し、財源の確保を行っておりますので、新公会堂についても導入する方向で検討してまいります。

質問 5

新公会堂には災害時（地震や水害など）の避難施設の機能は入っていますか？

回答

災害時の機能については、屋外にマンホールトイレや、かまどベンチなど防災家具の設置を計画しています。大堤地内については、十分な敷地面積が確保されていることから、避難所機能だけでなく、災害救助の活動拠点として大いに貢献できると考えています。

また、施設は高層の建物となるため、水害時には垂直避難場所の役割も果たすと考えています。

質問 6

古河市には小中高の学校が 50 校以上あります。かつて古河市には 4 つの映画館がありました。学童に映画を鑑賞してもらうためにも新公会堂には映画設備の計画は含まれていますか？これらの学童が年一回映画鑑賞をすると 39 校で 12 学年、年間 186 回の上映が予測され、公会堂の利用率にも繋がります。

回答

映画鑑賞などの設備については、映画だけではなく様々な講演や、イベントに活用が考えられますので、検討してまいります。

質問 7

中間報告書の共用部に防災機能とありますが、この防災機能には災害時の避難場所・避難所の機能が折り込まれていますか？

回答

災害時の機能については、屋外にマンホールトイレや、かまどベンチなど防災家具の設置を計画しています。大堤地内については、十分な敷地面積が確保されていることから、避難所機能だけでなく、災害救助の活動拠点として大いに貢献できると考えています。

また、施設は高層の建物となるため、水害時には垂直避難場所の役割も果たすと考えています。

質問 8

中間報告書の建設候補地の選定に於いて「近年発生している想定を超える豪雨などの水害に備えるため、治水対策の検討も行います。」とありますが、ほかに地盤が良く比較的高台の地域が望ましく、この候補地が適切か再検討が必要だと思えますが？

回答

候補地の選定については、駐車場、アクセス道路、利用者や車両の移動動線などの観点から比較検討した結果、同一敷地内での十分な駐車台数の確保、中型・大型バス等の利用制限の少なさ、複数のアクセス動線の確保とその安全性などから、市民の求めるホールを建設する候補地としては『大堤地区』の方に優位性があるとのことから選定に至ったものと理解しております。

また、この候補地は、未来産業用地開発事業（大堤地区）のエリアにもなっており、同一エリア内に商業機能・産業交流機能を有した新たなまちづくり拠点として、賑わい創出に取

り組んでいく予定ですので、それらの施設とのシナジー効果を見込めることなど、未来の古河市発展に向けた可能性も含めて選ばれたものと考えております。

大堤地内は、古河市洪水ハザードマップにおいて利根川・渡良瀬川及び、思川における浸水想定区域に指定されておりますが、国においても本対象河川の治水対策を行っております。具体的には、国（利根川上流河川事務所）における堤防強化等の治水対策事業において、古河市を含む利根川左岸の川表における堤防整備は、ほぼ完了し、川裏の盛土整備も40%強の進捗となっており、年次計画に基づき計画的に事業進捗を図っているところです。これにより、大堤地区を含む古河市の治水安全度は年々増しております。

新公会堂等の開発エリア内の雨水に関しては、開発行為の許可基準に基づき、周辺エリアに影響を与えないよう地盤のかさ上げや、調整池を整備し対応することになるものと考えています。また、今後、基礎調査の結果を踏まえて、市として必要な対応策を検討してまいります。

質問 9

候補地の地域は田畑地域でかつてはハス田んぼもあった記憶があります。既存公共施設（古河庁舎周囲、公方公園管理棟入口付近、スポーツ交流センター周囲など）の地盤沈下は、皆さんが目にしてますが、このようなことが起こらない造成工事が必要となるが？

回答

建設候補地については、広大な水田を有しており、大規模な盛り土及び、造成工事をする必要があります。今後、そのための地盤状況を把握するため調査を実施し、地盤沈下等がないよう整備してまいります。

質問 10

災害時における情報収集は携帯電話などでは対応が困難なため、アマチュア無線のデジタル無線中継局を常設したらいかがか？

回答

先進施設など状況を確認しながら検討してまいります。

質問 11

事業スケジュールでは令和 14 年運用開始とありますが、財源や建設候補地の立地に問題があると思います。私は文化センター建設は負担がなければほしいと思っていますが、多額の税金を投入する計画では建設は反対です。建設中止の判断はいつでしょうか？

回答

（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）については、令和 5 年に（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を設置し、現在、市民の意向や要望を反映した計画（案）を審議しているところです。

質問 12

建設候補地は、余計な費用のかからない地盤のしっかりした別の場所が良いと思うが？

回答

候補地の選定については、駐車場、アクセス道路、利用者や車両の移動動線などの観点から比較検討した結果、同一敷地内での十分な駐車台数の確保、中型・大型バス等の利用制限の少なさ、複数のアクセス動線の確保とその安全性などから、市民の求めるホールを建設する候補地としては『大堤地区』の方に優位性があるとのことから選定に至ったものと理解しております。

また、この候補地は、未来産業用地開発事業（大堤地区）のエリアにもなっており、同一エリア内に商業機能・産業交流機能を有した新たなまちづくり拠点として、賑わい創出に取り組んでいく予定ですので、それらの施設とのシナジー効果を見込めることなど、未来の古河市発展に向けた可能性も含めて選ばれたものと考えております。

質問 13

大堤地区のポテンシャルを評価している企業があると聞きました。ならば税金を使用せず民間で建設すればよいのでは？

回答

商業施設としてのポテンシャルを評価している企業はありますが、（仮称）古河市新公会堂の整備手法については、市の財政負担の軽減を鑑み、PPP/PFI（民間活力）を導入する事業方式での整備を念頭に検討しています。そのため、民間事業者へサウンディングを実施した結果、事業参画に高い関心を持つとの回答をいただいたため、今後は DBO 方式や、PFI 方式、リース方式等を検討し、建設コストの削減に努めてまいります。

質問 14

大堤地区の地権者は何人でしょうか？また市は用地をいくらで買い上げるのか？

回答

大堤地区の地権者については、66 人となります。また、用地取得については、未来産業用地開発事業（大堤地区）を開発する民間事業者が地権者との協議により決定していく予定です。

質問 15

大型建設故、市民投票はいつするのでしょうか？

回答

（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）については、令和 5 年に（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を設置し、現在、市民の意向や要望を反映した計画（案）を審議しているところです。市民投票（住民投票）の予定はしておりません。

質問 16

大堤地内は、古河市洪水ハザードマップにおいて利根川・渡良瀬川及び、思川における浸水想定区域に指定されている。そのため、防災の拠点としては、ふさわしくない場所だと思う。大堤地内に（仮称）古河市新公会堂を建設し、台風等による水害が起きた場合は、市長に法的責任を取る覚悟はあるのか。

回答

大堤地内は、古河市洪水ハザードマップにおいて利根川・渡良瀬川及び、思川における浸水想定区域に指定されておりますが、国においても本対象河川の治水対策を行っております。具体的には、国（利根川上流河川事務所）における堤防強化等の治水対策事業において、古河市を含む利根川左岸の川表における堤防整備は、ほぼ完了し、川裏の盛土整備も 40%強の進捗となっており、年次計画に基づき計画的に事業進捗を図っているところです。これにより、大堤地区を含む古河市の治水安全度は年々増しております。

新公会堂等の開発エリア内の雨水に関しては、開発行為の許可基準に基づき、周辺エリアに影響を与えないよう地盤のかさ上げや、調整池を整備し対応することになるものと考えています。また、今後、基礎調査の結果を踏まえて、市として必要な対応策を検討していきます。

質問 17

14 万人の古河市民がいるが、(仮称) 古河市新公会堂を利用したいと思う人はどのくらいいるのか。これまで、どのように調査をおこなったのか。

回答

(仮称) 古河市新公会堂の整備にあたっては、ゼロベースで検討をスタートし、令和 4 年に「(仮称) 古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書」を策定しました。それを基に令和 5 年に(仮称) 古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を設置し、市民の意向や、要望を基本構想・基本計画(案)に反映させるため、市民や文化団体など様々な利害関係者から意見を聴取いたしました。

市民の意向や要望については、令和 5 年度に市民アンケート(16 歳以上の市民 3,000 人)や、文化団体アンケート(480 団体)、教育関係ヒアリング(中学校・高等学校)、ワークショップ(市民全 5 回・中高生全 2 回)を開催し、様々なご意見をいただきました。

市民においては、アンケートの中で「1 年間(令和 4 年)に劇場やホールに赴いて舞台芸術を鑑賞をしましたか」の質問をしたところ、23.7%が「鑑賞した」と回答し、「鑑賞しなかった」と回答した方も、「新型コロナウイルス感染症の影響」が 17.1%、「近所で講演や展覧会などが行われていない」が 14.5%の回答があり、過半程度の鑑賞活動における潜在的なニーズがあると考えられました。文化団体においても、市内に発表の場がないため、近隣自治体の野木エニスホールや、栗橋文化会館イリス等を利用しており、教育関係ヒアリングでも、吹奏楽部のホール練習や、定期演奏会の会場として、近隣自治体のホール施設を利用している状況が確認できました。

質問 18

本日の質問の中で、大堤地区の土地取得に関して、議員の不正取得はないと市長は述べたが、登記簿を取り寄せるなどの確認は行なうのか。

回答

未来産業用地開発事業(大堤地区)につきましては、登記情報に基づき 66 名の土地所有者の方々に対し、令和 5 年 11 月 15 日と令和 6 年 2 月 27 日の 2 回にわたり、事業概要や市の考え方、今後のスケジュール等について説明会を開催いたしました。その中で、今後の進め方といたしまして、未来産業用地開発事業(東山田・谷貝地区)の先行事例同様、地権者協議会を設立し、協議を進めていくことが承認され、令和 6 年 5 月 20 日、地権者協議会が設立されました。その後は、本協議会の中から、各行政区(町内会)から選出された役員(12 名)における大堤地権者協議会役員会を適時開催し、協議を進めております。

本事業の推進には、地権者の皆様の協力が不可欠でありますので、情報共有を図りながら、地権者の協力が得られるよう丁寧な協議を行ってまいります。